

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名		熊本県治山林道協会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	産業振興部	課長名	右田 純司
	施策	18	住環境の充実			所属課	農政課	担当者名	米岡 美咲
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全			所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目		会計一般	款 6	項 2	目 1	事業連番 10199	根拠法令	熊本県治山林道協会定款	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	治山事業及び林道事業の拡充強化を図り、県土の保全と林業の振興に努め、もって、豊かで住みよい県づくりに寄与する事を目的に昭和54年10月に設立される。熊本県治山治水協会及び熊本県林道協会が合併して設立され、県内の全市町村が会員として参画している。平成13年に森林・林業基本法が制定され、森林・林業政策の方向性が、木材生産を中心としたものから、森林の持つ水源涵養・国土保全・地球温暖化防止等の多面的機能を持続的に発揮するものへと転換された。
【業務の流れ】	負担金支払 (負担金請求書受理、兼命令により支払)
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	熊本県治山林道協会に参画し、治山及び森林整備事業の拡充強化に係る情報収集に努めた。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 会議・研修会等への出席、負担金支払事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	会議等への出席回数	(単位) 回 予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等職員		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 担当職員数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 治山、林道事業等に関する情報を得ることができる。		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % 情報を得ることができた職員割合
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠 実際の業務としては会議等への出席と会費の支払い。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	回		0	0	1	0	1	1	1	1
② 対象指標	人		1	1	1	1	1	1	1	1
③ 成果指標	%		100	100	100	100	100	100	100	100
投資	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
入費	一般財源	千円	10	10	10	10	10	10	10	10
	(A) 事業費計	千円	10	10	10	10	10	10	10	10
	(A)のうち指定経費	千円	10	10	0	0	10	10	10	10
	(A)のうち時間外、特例	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	1	4	2	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	45	20	4	120	4	4	4	4
	(B)人件費計	千円	177	78	15	456	15	15	15	15
トータルコスト(A)+(B)		千円	187	88	25	466	25	25	25	25

事務事業名	熊本県治山林道協会参画事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 情報を得ることで達成できた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 会議・研修会等に出席する。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 新しい情報を得るため、成果の向上余地はある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 会費の算出については、協会の定款及び規定によるため市として関与できない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で事務を行なっているため、人員の削減はできない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 県土の保全と林業の振興を図り、豊かで住みよい地域づくりに寄与することを目的としており、市民全体が受益を受けるため公正、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 県土の保全と林業の振興を図り、豊かで住みよい地域づくりに寄与することを目的としており、市民全体が受益を受けるため公正、公平であることを目的としているので、市の関与は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

会議等で得た情報を共有したり有効に使えるように取り組んだ。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					